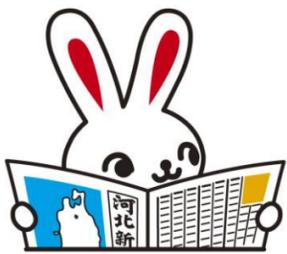


子どもたちの学力向上に 新聞を!!



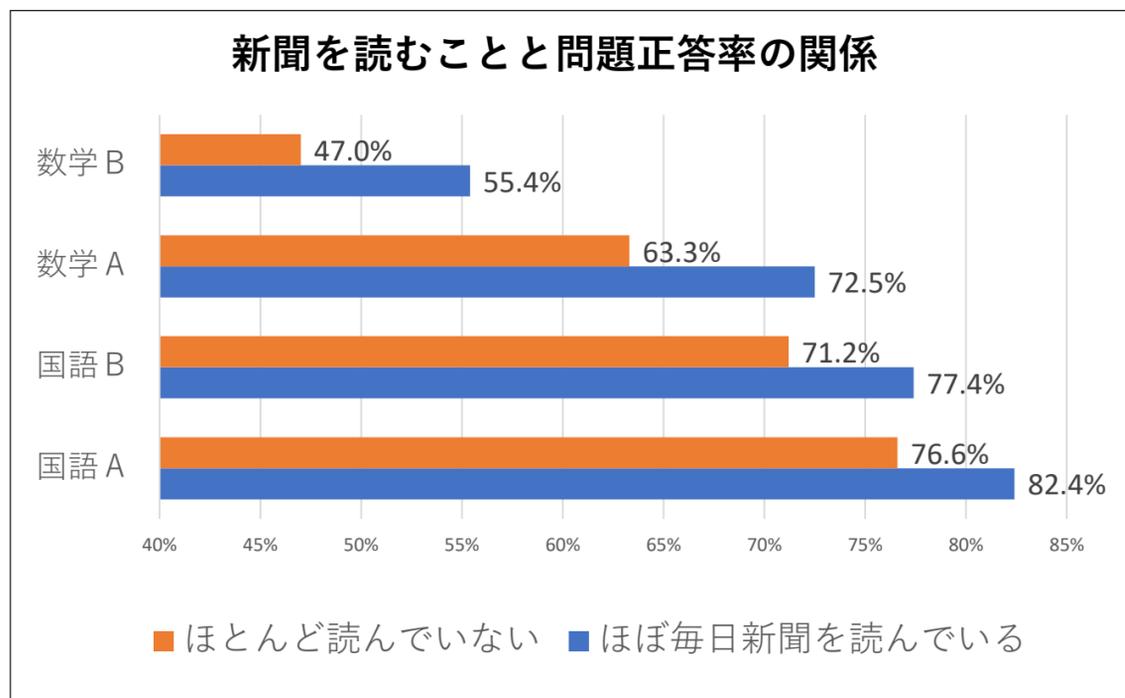
出前授業のご案内



河北新報社

新聞を授業に取り入れる ^{エヌ・アイ・イー} N I E (Newspaper in Education = 「教育に新聞を」の略) は、子どもたちの学力向上につながります。河北新報社は学校での新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。

2017年度の全国学力テストの結果（中学）

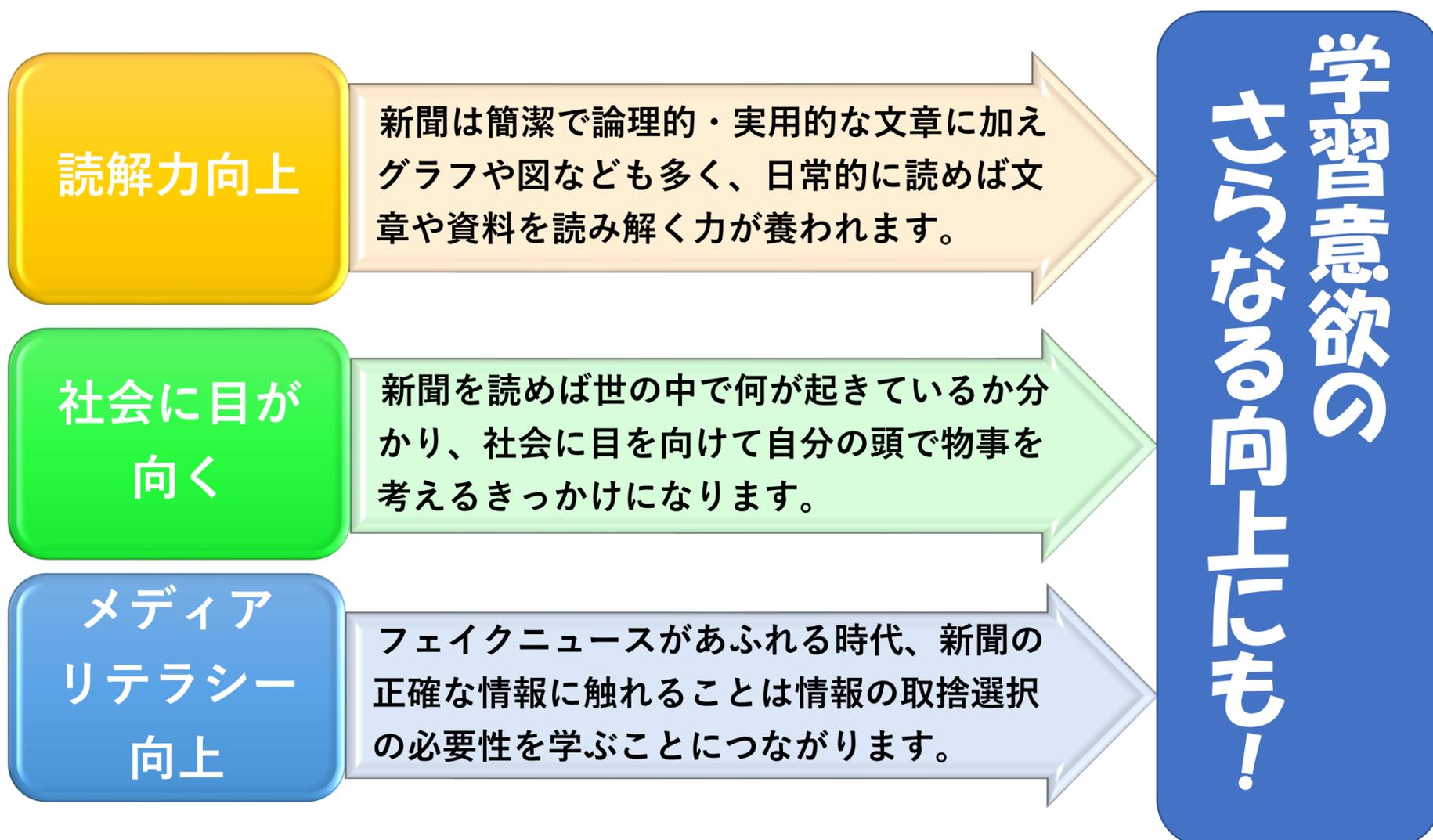


※日本新聞協会調べ

新聞を読むことでこんな力が身に付きます！！

読解力
課題発見・解決力
情報活用能力
批判的思考力

学習指導要領は、変化の大きい社会を生きる上で必要とされるこれらの力を育てることを求めています。



「でも、授業にどう取り入れていいか分からない…」
→河北新報社の出前授業を活用してください！！

出前授業メニュー一覧

| 種類 | テーマ | 対象 | 内容 |
|----------------|--------------------|--------------|--|
| 実践しよう (ワーク) | 新聞の読み方 | 小学校 高学年以上 | 新聞を5分で読む方法、勉強に生かすノウハウ、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学びます。 |
| | まわしよみ新聞 記事スクラップ | 全世代向け | 気になった記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を 発表します。多様な視点や考えがあることを学びます。 |
| | 新聞ポップ | 全世代向け | 気になった記事をマスキングテープで囲み感想や魅力 を書いた色紙を貼ります。ごみが出ず見た目も美しい。 |
| | 新聞の作り方 | 小学校 高学年以上 | 修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、 記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介します。 |
| | 見出しの付け方 | 小学校 高学年以上 | 見出しは記事のタイトル。見出しを考えることで考え をまとめ、分かりやすい文章を書くことを学びます。 |
| | 分かりやすい 文章の書き方 | 中学生以上 | 新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方 の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス 文書作成に役立ちます。 |
| | 探求学習の仕方 | 中学生以上 | 生徒が地域課題について取材し新聞で発表するまでの テーマ選び、取材方法、紙面の作り方を紹介します。 |
| | 新聞活用勉強法 | 小学校 高学年以上 | 新聞の中の知っている漢字を探したり天気図で気温を 計算したりして、学校での学習が実生活にどう役立つ かを学びます。 |
| 震災を学ぼう (講話) | 震災報道10年 | 中学生以上 | 震災直後から現在まで河北新報社が東日本大震災をど う報じてきたか、現場を取材した記者が紹介します。 |
| | 防災ノウハウ | 全世代向け | 地域巡回型防災ワークショップ「むすび塾」担当記者 が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介します。 |
| | 報道写真の役割 | 全世代向け | 写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写 真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学びます。 |
| 楽しもう | クイズ | 小学生 | 河北新報や新聞について楽しみながら学ぶクイズ |
| | 新聞リレー | 小学生 | 新聞紙をバトン代わりにしたゲーム |
| | 新聞ジャンケン | 小学生 | 新聞紙に乗り負けたらたたんで小さくするゲーム |
| 見学しよう | 新聞が届くまで | 全世代向け | 取材から記事執筆、編集、印刷、配達まで、新聞が読 者の元に届けられる過程を紹介します。 |
| | 印刷工場見学 | 全世代 | 河北新報印刷センターで新聞の印刷工程を見学できま す。 |

※時間や内容は要望に合わせてカスタマイズできます。

新聞製作の現場で働く河北新報社員が講師を務めます



講師は政治や事件事故、経済、プロスポーツなど各分野の取材経験が豊富な担当記者、紙面のレイアウトを担当する整理記者、写真専門記者らが務めます。編集以外でも「職種のデパート」と呼ばれるほど多彩な仕事がある新聞社の営業、販売、事業担当のスペシャリストもそろっています。どういった授業、学習効果を期待するかをお聞きした上で、こちらから最適な社員を派遣します。

※出前授業のほか、学校としてNIE授業に取り組むためのお手伝いもしています。お気軽に下記の問い合わせ先までご相談ください。

出前授業にあたってのお願い

- ① 費用はかかりませんが、学校として河北新報を1部以上購読していただくことをお願いしています（既に購読していれば、追加購読は不要です）。教育での新聞活用は1回の授業だけで終わっては意味がありません。学内での新聞掲示などを通じて、子どもたちが日常的に新聞に触れられる環境を整えていただきたいという趣旨です。
- ② 出前授業を受ける児童生徒の教材として、当日の朝刊を児童生徒の人数分購入していただきます。
- ③ 購読案内などのPR資料や保護者向けのリーフレットなどの配布をご協力いただくようお願いいたします。

【お問い合わせ先】
河北新報社 防災・教育室

〒980-8600 宮城県仙台市青葉区五橋1-2-28

TEL 022-211-1309 FAX 022-211-1339 E-mail : kyopro@po.kahoku.co.jp